

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	音楽基礎B4（音楽理論）	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	金澤法皇、末光篤		実務経験の有無・職種	有・音楽講師、理論書出版・ミュージシャン	
学習目的					
音楽理論の基礎をしっかりと身につける。記号の書き方、音符の長さなどの基本から、スケール、音程までは最低でもしっかりと理解し、楽譜をきっちりと読めるようにする。また、自身の曲を書く学生は、自身の曲の譜面を書けるようにする。					
到達目標					
様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自身で楽曲分析を出来るようにする。					
教育方法等					
授業概要	なるだけ少人数制のグループで丁寧に授業を進めていく。授業開始にはならず復習の小テストを行い、何度も繰り返し行う事によって、徹底して理解させる。理論の理解を深め定着させていく。				
注意点	理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	セカンダリー復習 1		セカンダリーの使用方法を楽曲分析にて理解させる		
2回	セカンダリー実習 2		実際の学生の曲にセカンダリーを入れてみる		
3回	セカンダリーの効果		在る場合とない場合との違いを考察しながら、入れるポイントを理解する(2-5進行等)		
4回	クリシェについて		クリシェおよびその使用方法を分析にて理解させる		
5回	カノン進行		既存曲を用いてカノン進行を理解する		
6回	J－POP進行		J－POPに良く用いられるいくつかのコードパターンを実際に使ってみる		
7回	チャーチモード		モードについての理解、その使用方法等について理解する		
8回	テスト		後期試験を見据えた中間テストで理解を含める		
9回	アナライズ		様々なコードパターンを含む学校をアナライズする		
10回	学生が選曲するアナライズ		学生から公募した楽曲をアナライズする		
11回	アボイドノートについて		アボイドを用いたいくつかの例を挙げてその解説を行う		
12回	作曲		8小節のケーデンス内でセカンダリーを用いた作曲をする		
13回	作曲(コードパターン)		8小節のケーデンス内でクリシェ、カノン進行を用いた作曲をする		
14回	発表		作曲したものを授業内で発表する		
15回	後期まとめ		後期テスト		